

いわて便り

No. 18

2018年2月28日発行

2月号

日本生協連
組合員活動部

今冬は全国各地で例年に見舞われ、被害にあわれたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。岩手は、特別雪が多いわけではありませんが、寒さは厳しい日が続いています。

まもなく東日本大震災発生から7年。県内の仮設住宅にはまだ6千人が暮らしています。早い復興を願います。



「被災地支援活動助成金」贈呈式を開催しました！

いわて生協では、東日本大震災や2016年に発生した台風10号の被災地で支援活動を行う団体・NPOを支援する助成金制度を2016年度からスタートしました。この助成金には、全国の生協から寄せられた「くらし・地域復興応援募金」などを活用しています。2017年度は13団体に約308万円の助成を決定しました。

12月17日の贈呈式には11団体13人が出席しました。参加者からは「震災からもうすぐ6年9ヶ月。助成金はととてもありがたい」と喜ばれました。

今回助成を受けた各団体の活動のようすは、引き続きいわて便りなどを通じて紹介します。



2017年度「被災地支援活動助成金」贈呈団体

	団体名	所在地	助成金用途
1	ふじばたけ・ふれ愛サロン	宮古市	サロン活動
2	一般社団法人 Tsubomi	大槌町	親子向けイベント開催
3	一般社団法人 三陸駒舎	釜石市	子ども支援備品購入
4	一般社団法人 ちむ麻の葉	陸前高田市	サロン活動
5	NPO法人 クチエカ	岩泉町	台風10号支援活動 備品購入
6	宮古読み聞かせの会 おどつつあんS	宮古市	読み聞かせイベント費用
7	Home of Wisdom	住田町	サロン活動
8	シンセサイザー演奏を聴く会	陸前高田市	演奏会開催費用
9	碓石地区復興まちづくり協議会	大船渡市	イベント、カルタ作成費用
10	もっちいと森の仲間たち	花巻市	公営住宅花壇用球根代
11	CAPリアス	山田町	CAPワークショップ、講演会開催費用
12	おおつちバラエティショー実行委員会	大槌町	町民劇場ショー開催費用
13	子育てサークル きっぴんきっず	大船渡市	イベント、備品購入費用



おおさかパルコープが大槌町で元旦おふるまい

おおさかパルコープの20人の役職員が12月31日深夜から元日昼まで、大槌町の小槌神社で大阪名物「かすうどん」や「たこ焼き」、「おしろこ」をふるまいました。元朝参りに訪れた方々からは「かすうどん初めて食べたけど、おいしい」「毎年遠くからありがとうございます」「たこ焼き毎年楽しみにしています」など、感謝の声がたくさん寄せられました。

おおさかパルコープでは震災直後から職員1人を遠野に派遣し、被災地の支援を今でも継続しています。この元旦おふるまいのほか、夏には陸前高田市の花火大会の屋台出店、組合員・職員のボランティアバスや職員研修などを継続しています。



被災地の現状

被災した子どもの心のケア態勢拡充へ

岩手県では、2018年度、東日本大震災で被災した子どもたちの心のケアや相談、診療を行う「いわてこどもケアセンター」の態勢を拡充することを決めました。

受診件数	2013年度	約2,000件
	2014年度	4,013件
	2015年度	4,620件
	2016年度	6,379件

このセンターは、被災地の子どもの心のケアを中期的に担う拠点として、2013年5月に開設され、運営は岩手医科大学が行っています。児童精神科医や臨床心理士、作業療法士などで診療のほか、県立宮古・釜石・大船渡病院へも週1回の巡回診療を行っています。

受診件数は年々増加し、2017年度も前年を上回るペースで推移しています。震災影響による心の問題、不登校、家庭内での問題行動など対応案件は様々です。震災発生から7年となり、時間が経ってからケアの必要が出てきた子どももいます。

そのため、2018年度から相談窓口を新設するほか、医療、保健福祉、教育などの関係機関との連携強化など、取り組みを拡充するとしています。

いわて生協では、被災地での子ども映画会などを開催しています。今後も他団体と協力して、子どもたちが楽しめる場を増やしていきます。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉